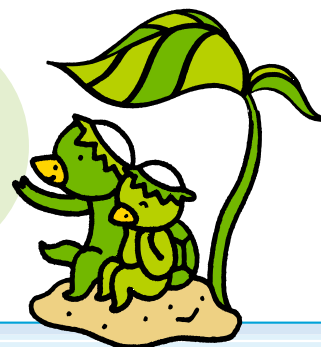


知る 遊ぶ
学ぶ

天竜川ひろば

天竜川に関する
旬の情報を
お届けします。



天上ニュース

●天竜川上流河川事務所からのお知らせ●

「災害復旧工事の進捗状況と激特事業について」

堤防の復旧工事が 進んでいます

「平成18年7月豪雨」に伴う出水により、7月19日に欠壊した箕輪町松島北島地区の天竜川堤防では、昨年11月中旬から本格的な復旧工事が実施されています。この3月末には堤防としての機能が回復します。

昨年7月19日



今年3月2日

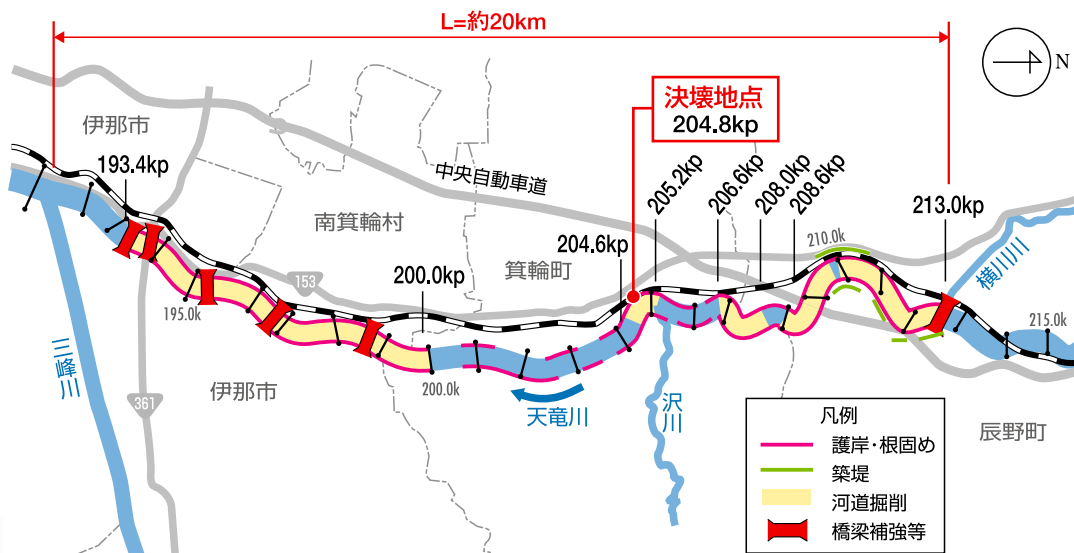


激特事業が始まります

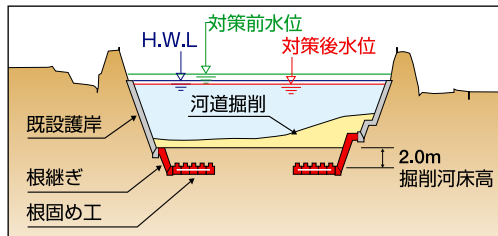
「平成18年7月豪雨」に対する再度災害防止を図ることを目的として、「諏訪湖・天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業（通称：激特事業）」が行われます。

天竜川上流河川事務所では、天竜川約20kmの区間につき、平成22年度まで築堤、護岸、河道掘削等の改修工事を進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

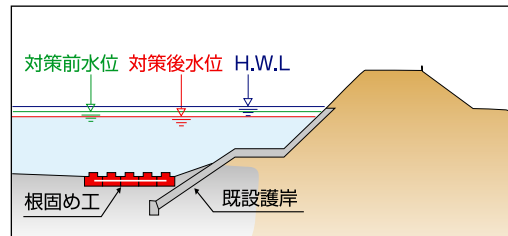
実施箇所と整備内容（国管理区間）



河積増大のイメージ



洗掘対策のイメージ



天竜川の仲間たち

天竜川で活躍する 団体からのお知らせ

暮らしの学校「だいだらぼっち」

●「仲間との一年間の共同生活」

泰阜村にある暮らしの学校「だいだらぼっち」では今年度、近くは飯田市、遠方では大阪までの小学5年生から中学3年生までの15名の子どもたちと、15名のスタッフが生活を共にしました。子どもたちは1年間親元を離れるという固い意志を胸に秘め、村の小中学校に通いました。

●「暮らしから学ぶ」

「だいだらぼっち」において大切であり、子どもたちにとって楽しいこと。それは、「自分たちのことは自分たちでやる」ということ。

ご飯作りや掃除、洗濯はもちろん、五右衛門風呂やストーブに使う薪も自分たちの力で調達します。

また、1年間のスケジュールも決められたモノはなく、日々の暮らしを通じて子どもたちが創りあげていきます。

楽しいことばかりでなく、ときには不便でめんどくさい仲間との暮らしのなかで、子どもたちは生きるために必要な力を学んでいきます。

●「子どもたちが創る1年」～川に親しみ、学ぶ～
子どもたちの楽しみの一つと言えば「川遊び」。川の周りでの危ないことはスタッフに助言をもらいながら、自分たちで考え、どのように楽しく遊ぶかを計画します。そうして子どもたちは、天竜川でカヌーや和知野川でのキャンプ、万古川の天然スライダーなどに繰り出します。



天竜川でのカヌー



万古川でのスライダー

安全管理には研修を受けたスタッフがっています

また、飲み水の水源となる地域の川を極力汚さないために、日々の生活では、使用した食器を使用済みペーパータオルで拭き取った後に洗い物をします。一年間を通した暮らしのなかで「川遊び」も一つの学習素材としてとらえ、子どもたちはさまざまな学びを習得しています。

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
暮らしの学校「だいだらぼっち」 相談員 片山健太
TEL 0260-25-2515
E-mail daidara@greenwood.or.jp



国土交通省
天竜川上流
河川事務所

●皆さまからの情報、ご要望などをお待ちしています

天竜川上流河川事務所「天竜川通信」係
〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南7-10
TEL 0265-81-6415 FAX 0265-81-6421
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/>
Eメール tenryo@cbr.mlit.go.jp

募集して
います

天竜川通信でご紹介する「天竜びと」を募集しています。天竜川が大好きな方、自薦他薦は問いません。ぜひご応募ください。

●編集部からのお知らせ●

次号は平成19年夏発行予定です。